

2011年3月29日

東北地方太平洋沖地震への対応について（3月29日更新）

3月11日に発生いたしました東北地方太平洋沖地震により被災された皆様に、心よりお見舞いを申し上げます。

掲載

当社グループは、当該地震に関しまして、株式会社ピーエス三菱本社（中央区晴海）に災害対策本部（本部長：勝木社長）を設置しました。3月29日現在までの震災対応状況は下記の通りです。

（被害状況確認）

1．人的被害

全社従業員の安否は3月14日までに確認済み。

東北協和会（土木・建築の協力会社）についても会員各社の従業員に人的被害は無し。

2．設備被害

支店・営業所

「東北支店」（宮城県仙台市）、「札幌営業所」（北海道札幌市）、「青森営業所」（青森県青森市）、「八戸出張所」（青森県八戸市）、「秋田営業所」（秋田県秋田市）、「盛岡営業所」（岩手県盛岡市）、「福島営業所」（福島県福島市）は、建物・設備共に損傷無し。

（支援物資）

3月15日から3月28日にかけて支援物資（食料・水・燃料・日常生活品等）を東京・大阪・名古屋・広島・九州・新潟・札幌より仙台へ搬送。公的支援として県・市へ提供。順次、追加支援物資を輸送予定。



（人的支援）

3月15日に東京から7名を震災支援要員として東北地区へ応援派遣済み。

3月21日大阪・九州・広島から技術者5名を応援派遣済み。

順次増員できる体制を構築済み。

（被災物件への対応）

3月15日より技術者を派遣し既設橋梁調査を迅速に行っている。（山形県180橋、岩手県430橋、調査完了）

建築物件は被災度合いを調査し、二次災害防止措置、仮営業できる状態へ緊急復旧し順次対応している。145物件調査し94物件について調査完了、82物件仮復旧済み。

（義援金について）

当社は、この地震で被災された方々と被災地の復興に役立てていただくための義援金として、1千万円を寄付することを決定いたしました。なお、当社グループ役職員からも、これと併せて義援金を募っております。

（福島第一原発事故に伴う退避状況）

従業員23名全員退避完了（3月15日時点 福島第一原発から半径30Km外への退避）

当社では政府の退避指示・勧告等があった場合には、速やかに従うこととしており、今後、待避地域の変動があった場合においても同様であります。

（今後の状況報告）

人的支援、救援物資、被害状況の変化に応じ対応策を協議、即時に被災地に技術者を派遣し、各地整・県からの要請に対する迅速な協力、当社施工の既設橋梁の調査、発注者との工事再開協議、復旧工事の協議、並びに建築工事における顧客被害状況の把握と仮店舗営業や本復旧工事等の遺漏なき対応を中心に引続き鋭意実施していく所存です。